



news release

2011年6月13日

報道関係各位

マンダリン オリエンタル 東京
日本橋を彩る晩夏の風物詩として恒例の
『日本橋納涼怪談』を開催
8月14日(日)

「世界のベストホテル」ランキングで2010年の1位に選ばれた、「マンダリン オリエンタル 東京」(東京都中央区日本橋室町、運営:マンダリン・オリエンタル東京株式会社、総支配人:クリスチャン・ハッシング)では、8月14日(日)、グランド ボールルームにて、人間国宝の講談師・一龍斎貞水師匠を招き、伝統話芸と特殊演出効果による立体怪談、『マンダリン オリエンタル 東京で愉しむ、日本橋納涼怪談』を今年も開催いたします。今年の演目は人気のホラーゲームソフトとコラボレーションした貞水師匠の書き下ろし。

講談は江戸時代末期ごろから盛んな伝統話芸。「怪談の貞水」として怪談噺を語らせては当代随一と称される講談師、人間国宝・一龍斎貞水師匠の珠玉の話芸に特殊演出効果を加えた「立体怪談」と、当ホテルのグランド ボールルームが誇る最新鋭のオーディオビジュアル装置とのコラボレーションはまさに必見といえます。室内 360 度の壁面に忽然と現れる映像やサラウンドサウンド、闇の中に妖しく揺れる提灯のあかり……。今年の演目は、伝統と革新が見事に融合した、いわば“新作の古典”。人間国宝・一龍斎貞水師匠が人気のホラーゲームソフト「サイレントヒル」にインスパイアされて書き下ろした、『ぬけられぬ雨の吉原』に決まりました。

暑い夏を怪談噺で涼やかに。これぞ、江戸っ子のエコで粋な夏の過ごし方。江戸情緒をさらにご満喫いただくために、浴衣か着物でご参加いただいたお客さまには、マンダリン オリエンタル 東京オリジナルの扇子を無料で進呈いたします。

入場料はお食事込みで9,500円。怪談の後は、ホテル最上階からの眺望が自慢のアジアンインスパイアダイニング「ケシキ」にて、特製の松花堂弁当風ディナーをお召し上がりいただけます。また、ボールルーム前のハワイエにはバーカウンター(有料)もご用意しておりますので、6ツ星ホテルのラグジュアリーなホスピタリティーと人間国宝の深みある話芸で、晩夏の一夜を涼やかに過ごしてください。

加えて、7月、8月中、マンダリン オリエンタル 東京 2階のイタリアンダイニング「ヴェンタリオ」に、浴衣姿で来店し、4名様でディナーブッフェをお召し上がりいただくと1名様分が無料に、また1名様で来店の場合でも、ウエルカムドリンクとしてオリジナル サマーカクテルを1杯無料でご提供いたします(ただし、特典の併用はできません)。

マンダリン オリエンタル ホテル グループの理念は「センス・オブ・プレイス」。すなわち、世界中のマンダリン オリエンタルがホテルの立地する土地柄に敬意を表したホテルづくりでその街に溶け込み、地元で愛されるホテルとなることを目指しています。東京では、400年の歴史が育む伝統と江戸の粋な町民文化が今も受け継がれる日本橋の地で、風物詩となるような催しをさまざまに行っており、『日本橋納涼怪談』は晩夏を彩る日本橋のイベントとして2008年より毎年開催しています。

『マンダリン オリエンタル 東京で愉しむ、日本橋納涼怪談』

【日時】 2011年8月14日(日) 15:00 開場
怪談 (3階 グランド ボールルーム): 15:30~16:30
ディナー (38階 アジアンインスパイアダイニング「ケシキ」): 17:00~18:30

【入場料】 鑑賞券のみ (消費税込): 6,000円
ディナーつき (消費税・サービス料込): 9,500円

【予約受付先】 オンライン予約 (鑑賞券のみ): イープラス (<http://eplus.jp>)

電話、またはファクシミリ予約 (ディナーつき鑑賞券):
(受付は平日10:00から17:00まで)

芝居茶屋「新日屋」内 日本橋納涼怪談事務局

Telephone: (03)5652-5403

Facsimile: (03)5652-5404

Email: reservation@shinnichiya.com

〒103-0005 東京都中央区日本橋久松町13-3 木下ビル4階



『マンダリン オリエンタル 東京で愉しむ、日本橋納涼怪談』イメージ
上記写真データをご希望の方は下記までご連絡ください。

「一龍齋貞水」とは

講談協会相談役、重要無形文化財保持者(人間国宝)。

1955年、先代一龍齋貞丈に入門。1966年、真打ち昇進、六代目一龍齋貞水を襲名する。1975年芸術祭優秀賞を受賞。1976年、放送演芸大賞講談部門賞を、1999年、第13回下町人間庶民文化賞を受賞。2002年に重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定される。講談界初で寄席の世界では故・柳家小さん師、桂米朝師について3人目の認定。2003年、文京区区民栄誉賞を受賞。2003年には講談の普及、自己の研鑽、講談師の勉強会を目的に、湯島天満宮にて「講談・湯島道場」を開始。

「マンダリン オリエンタル 東京」とは (www.mandarinoriental.co.jp/tokyo)

マンダリン オリエンタル日本初のホテルとして、2005年12月2日、東京日本橋に開業しました。グループの理念「センス・オブ・プレイス＝立地する土地柄と文化に敬意を表するホテルづくり」をハード面はもちろんソフト面でも実現。館内デザインには「森と水＝日本の自然」をモチーフに和の趣を取り入れ、スタイリッシュな中にも安らぎに満ちたラグジュアリーな空間を作り出しています。38階建の日本橋三井タワー高層階に位置するゲストルームは全178室。50㎡以上のゆとりあるスペースに最先端のITを取り入れ、すべてのゲストルームから東京を眼下に見渡す眺望をお楽しみいただけます。館内には、充実した施設と数々の受賞歴を誇る直営スパ、9つの料飲施設(3つのレストランがミシュラン1ツ星を取得)とグルメショップ、グラント ボールルーム(1)、バンケットルーム(4)、ミーティングルーム(6)、チャペルなどを完備しています。開業以来数々の世界的な賞やランキングに輝いていますが、主なものとして以下があげられます。

2006年、アメリカン・アカデミー・オブ・ホスピタリティー・サイエンスより世界初の「6ツ星」。以来6年間連続受賞。

2007年、世界最大の旅行者調査に基づくガイドブック「ザガットサーベイ」より「トップホテルジャパン」。

2008年連続受賞 (2009年以降同ガイドは未刊)。

2007年、『ミシュランガイド東京2008』より「5レッドバビロン(ホテル格付最高ランク)」。

2008年、2009年、2010年の連続受賞に加えて、「快適なホテル順」においても3年連続1位。

2009年、世界最大の旅行クチコミサイト『トリップアドバイザー』より「日本人女性が選んだ日本のベストホテル」。

2010年、「トリップアドバイザー トラベラーズチョイスアワード」より「日本のホテル トップ25」1位。

2010年、米国の金融専門誌『インスティテューショナル インベスター』による「世界のベストホテル」1位。

「マンダリン オリエンタル ホテル グループ」とは (www.mandarinoriental.com)

世界で数々の権威ある賞に輝くマンダリン オリエンタル ホテル グループは、「マンダリン オリエンタル 香港」、130年以上の歴史を誇る「マンダリン オリエンタル バンコク (旧ザ・オリエンタル バンコク)」のほか、ニューヨーク、ロンドンなど世界の主要都市やリゾート地でラグジュアリーホテルを展開しています。現在、開業予定のホテルを含め世界26カ国に41のホテル(アジア18、北米12、ヨーロッパ・中東・北アフリカ11)、約10,000室を所有ならびに運営するほか、新たに12の居住施設「レジデンス・アット・マンダリン・オリエンタル」の開発ならびに運営を行っています。

<報道関係からの本リリースに関するお問い合わせ先>

マンダリン オリエンタル 東京

コミュニケーションズ: 早川/早田/吉田

Email: motyo-pr@mohg.com

Direct Line: 03-3270-8960 (セクション直通)

Telephone: 03-3270-8800 (代表)

Facsimile: 03-3270-8829

〒103-8328 東京都中央区日本橋室町2-1-1

URL: <http://www.mandarinoriental.co.jp/tokyo>